



果樹・樹木医学 研究室

吉野ゼミナール

常緑果樹類、落葉果樹類に関する栽培技術の調査、研究及び樹木の特性・診断・樹勢回復・管理技術等を学び、樹木医補の認定も目指します。

担当教員

吉野 賢一（教授）

担当教科

果樹園芸学、樹木医学、園芸実験実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、園芸研究

果樹・樹木医学

実験実習場で主にミカン類の剪定・摘果・収穫・病害虫防除方法などの研究を行うとともに、ブルーベリー、ブドウ、カキ、キウイフルーツなどの落葉果樹を使用した研究も行っています。



産・学 連携事業

大学と地域との協働による産・学連携の事業として、佐賀県地域における「地域資源（ヤブツバキ）を活かした里山の再生・振興」に取り組んでいます。



在校生より

カンキツ、ブドウ、カキ、ブルーベリー、キウイフルーツなどの果樹の管理について実習をしています。カンキツ園での摘果作業やミカンの収穫など楽しい行事が多くあります。

ゼミ研究では果樹に関すること以外にも、樹木の樹勢回復や治療など樹木医の管理技術に関することなども、学生のやる気次第で何にでもチャレンジすることができます。

ゼミナールテーマ

- 西村早生における収穫後の脱渋に関する研究
- ブルーベリーの菌根菌が挿木の成長に及ぼす影響
- 厩肥の悪臭被害抑制を目指した悪臭防止剤の効果に関する実証
- カボスの香りの変化に関する研究
- 自然環境保護の視点から野焼きの有用性を考察する

森林学 研究室

高橋ゼミナール

人間の暮らしに不可欠な樹木について、森林科学の基礎研究ができます。色々な方向から「木」を調べつくす研究室です。

担当教員

高橋 さやか（助教）

担当教科

統計学、林産加工、園芸実験実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

森林科学

森林の役割を考える、森を測る、葉っぱの開き方を調べる、光学顕微鏡で木の中の細胞を観察するなど、実験室からフィールドワークまで、いろいろな場所で研究します。

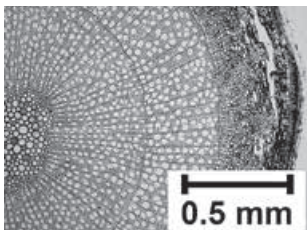


図1. 枝の顕微鏡写真

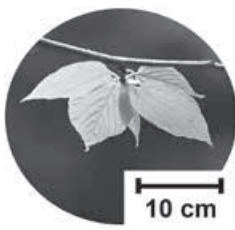


図2. 葉の開き方



図3. 樹木1本



図4. 森林

教員より

できたて、ほやほやの研究室です。人間の暮らしに必要な樹木について、細胞から生態学まで、様々なスケール（参照：図1-4）で、じっくり観察してみませんか。

ゼミナールテーマ

- 樹木はいつ成長しているの？
- 葉っぱの開き方と幹のでき方の関係
- 樹木の形は、樹木の種類でどうして違うの？
- 樹木の生育環境が材質に与える影響
- どうしたら良質の木材を生産できるの？
- 良い森ってどんな森？

造園研究室

鍵和田ゼミナール

造園空間を創出するために必要不可欠な植物を対象に繁殖から維持管理まで、造園技術の研究を行います。

担当教員 鍵和田 又一（准教授）

担当教科 樹木学、造園施工管理学、農林業土木、造園演習、造園製図、園芸研究、管理実習Ⅱ、園芸実験実習Ⅲ・Ⅳ

造園

居住空間の製作（和風庭園・イングリッシュガーデンから都市デザイン・イネーブルガーデンの設計・施工や、花と緑あふれる快適な都市の居住空間をプランニングし、職人の視点で創造できる技術を学びます。



在校生
より

ものづくりやデザイン、樹木に興味がある人は、**鍵和田ゼミナールで決まり!!**

写真のようなお庭を学校見学会や学園祭で展示します。学生がアイデアを出し合って、デザインなどから考えて造っていきます。ぜひ一度ご覧ください。短大と一緒にお庭を造りませんか？

ゼミナールテーマ

- センダンの幼齢木における芽かき及ぼす成長量への影響について
- 挿し穂基部における加工の違いがサカキの発根に与える影響
- 倉吉市旭原のソーシャルキャピタルに関するアンケート調査
- ポットの違いがシナサワグルミの稚苗時の成長に与える影響
- 根元周の違いがサカキ台切法の萌芽に与える影響

花卉園芸研究室

宮原ゼミナール

切り花、鉢花などの生産を行い、フラワーデザインまで行います。

担当教員 宮原 佳代（教授）

担当教科 花卉園芸学、花卉装飾学、香りと色彩の心理、花卉装飾学演習、園芸実験実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、園芸研究

フラワーアレンジメント 花卉園芸

フラワーデザイナーはブーケやコサージュといった総身を飾るデザインを主とします。カラーコーディネート、フラワーコーディネートしながら生活空間をデザインします。



在校生
より

ゼミでは、毎日学内に生け花やフラワーアレンジを飾り、年に数回フラワーアレンジコンテストに出展し、毎年受賞しています。フラワー装飾技能士やカラーコーディネーター、アロマセラピー検定などの資格をとって生花店、ブライダル関係に就職を希望する学生が多くなります。入学式、卒業式のコサージュ作成、幼稚園のフラワーアレンジ、ひな祭りのフラワーアレンジ、高校生へのコサージュ作成指導など、花に携わる機会が多いのが魅力です。花が好きなら、フラワーアレンジに興味がある方はぜひ、宮原ゼミへ！一緒にフラワーアレンジを作りましょう♪♪

ゼミナールテーマ

- 大分短期大学 柞原実習地ツバキ品種保存園の調査とツバキリストの作成
- ハボタンの栽培技術に関する研究
- フラワーアレンジの色彩に関する研究
- フラワーコンテスト出展作品の花材と色彩に関する調査
- ハーブの栽培と香りに関する研究
- コスモス栽培に関する研究

園芸バイオテック 研究室

摺崎ゼミナール

花・野菜・果樹の栽培から土壌分析・ポストハーベスト・機能性成分分析まで植物バイオテクノロジーに関する研究に取り組んでいます。

担当教員

摺崎 宏 (教授)

担当教科

園芸バイオ実習、ガーデニング概論、情報処理、進路支援Ⅰ・Ⅱ、園芸研究、園芸実験実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

花・野菜・果樹、植物組織培養、機能性成分分析

野菜・花・果樹の植物組織培養、微生物培養、野生植物の組織培養技術を用いた種の保存、抗酸化活性やアミラーゼ活性など野菜の機能性成分分析に関する研究を行っています。



在校生
より

編入学を希望する学生が多いので専門の勉強だけではなく、英語の勉強にも力を入れています。時々、英語の特訓があります。学生の研究テーマは、植物生理学に関する研究、栽培に関する研究、ポストハーベストに関する研究、組織培養に関する研究、土壌肥科学に関する研究など様々です。テーマ探しは文献検索から始まります。ちょっと大変ですが、研究成果が得られた時の達成感は最高です！

ゼミナールテーマ

- LED照射光色の違いがカイワレダイコンの抗酸化活性に及ぼす影響
- 誘引方法がミニトマト栽培の作業性と果実品質に及ぼす影響
- キンランの無菌播種
- 温風処理がブルーベリー果実の貯蔵中の果実硬度に及ぼす影響
- イチゴ茎頂組織の暗所での冷蔵保存が培養体の生育に及ぼす影響
- クリーニングクロープの栽培が土壌の電気伝導度と可給態リン酸に及ぼす影響
- 塩害が発生するメカニズムと作物の耐塩性に関する研究

畜産・草地環境 研究室

小野ゼミナール

畜産と耕種分野が連携を取り、これからの環境を保全していくことは、将来にとって必要不可欠です。当研究室では、その技法を研究していきます。

担当教員

小野 宣幸 (助教)

担当教科

飼料作物学、生命科学基礎、植物生理生態学、進路支援Ⅰ・Ⅱ、園芸研究、園芸実験実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

畜産・草地・作物・環境

畜産を中心とし、作物や牧草の栽培を通じて、畜産分野との連携のありかたについて研究していきます。



在校生
より

畜産と稲やイモ、麦などの作物を主な題材とし、また農業を取り巻く環境についても研究を行っています。実習では、耕耘から収穫までの全ての行程を体験し、作物の特徴や上手に育てるコツなど詳しく学ぶことができます。実際に見て聞いて体験しながら学べるので、一歩踏み込んだ知識を得ることができます。

作物や畜産への理解を深めていくと、これまで気づかなかった各分野の繋がりが見え、新しい考え方が構築できて、とても面白いです。

ゼミナールテーマ

- サツマイモの研究
- イネの研究
- ヒユ科植物の研究
- 芝生の研究
- ショウガの研究

土壌肥料・野菜 研究室

橋本ゼミナール

土壌肥料、野菜の栽培方法について研究します。

担当教員

橋本 裕輝 (助教)

担当教科

土壌肥科学、野菜園芸学、施設園芸学、園芸実験実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、園芸研究、ガーデン材料計画学

土壌肥科学

手配合、畝作りなど栽培に関する基礎技術を学んでいきます。播種から収穫まで、自ら考えながら栽培します。環境に優しい農業のことを深く追求していきます。肥料会社へ工場見学を行い、講義で学んだ専門知識や技術が実際どのように活用されているか知り、見識・知見を広げます。



在校生より

- ゼミでは圃場で野菜や切り花用の花を栽培しています。畝作りなどの基本的なことに加え、耕運機の操作方法も学ぶことができるので、農作業がしたいと思っている人、栽培スキルを上げたいと思っている人はぜひきてください。
 - 1年を通して様々な品種の野菜を栽培しており、学生がどうすれば上手く育てることができるかを考えながら常に作業を行っています。
- 橋本ゼミで楽しい学校生活を過ごしませんか 笑。

ゼミナールテーマ

- チンゲンサイにおけるメタン発酵消化液を利用した養液栽培の研究
- 自家製複合肥料がトマトの生育・品質に及ぼす影響
- もぎ茄子栽培における亜リン酸の施肥が生育・品質に及ぼす影響

園芸療法 研究室

小石ゼミナール

“園芸活動”を福祉的かつ療法的な視点から分析を行い、介護現場や高齢者施設などで活かせるような研究をしています。

担当教員

小石 鉄兵 (助教)

担当教科

作業療法、社会心理学、園芸療法Ⅰ・Ⅱ、園芸研究、園芸実験実習Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ

園芸療法

“植物”は 人の心を癒したり、穏やかにしたり和ませる力があります。
 “植物を育てる園芸作業”は 自信や自尊心、達成感、満足感、期待や喜びを与えます。



在校生より

小石ゼミでは、園芸療法を中心とした様々な研究を行っています。
 園芸療法では、人と植物との関わりを通してコミュニケーション力を養うことができます。
 学校見学会や学園祭では、園芸療法に関する詳しい説明や展示、体験を行っています。また、園芸療法士の資格取得や企業訪問、課外活動にも積極的に取り組んでいます。
 面白くて優しく、親身になってくれる小石先生と共に、充実したキャンパスライフを送りませんか。

ゼミナール内容

- “農福連携”における園芸療法の可能性
- レイズドベッドの排水性について
- 花の寄せ植え作業における「個人と集団による取り組みの差」が及ぼす心理面への影響
- 植物への“語りかける”行為が人に与える影響について
- 茶の6次産業化への取り組みと戦略的思考
- 障害者雇用における就労支援施設(農園芸分野)が担う多面的機能について